

日本人はナボコフを どう読んできたか

2018年

7/7 土

15:00-16:30

(14:30開場)

日本大学会館第二別館

三階会議室 ※入場無料・予約不要、一般の方を
対象(ただし、千代田区民優先)

秋草俊一郎

日本大学大学院
総合社会情報研究科 准教授

『ロリータ』で知られ、没後40周年をこえた
今も訳書の刊行が相次ぐ作家、ウラジー
ミル・ナボコフを日本人はどう読んできたの
でしょうか。著書『アメリカのナボコフ』には
収録しきれなかった過去の資料も紹介
しながら、その変遷を概観します。

あきくさ・しゅんいちろう

日本大学大学院総合社会情報研究科 准教授。博士(文学)。
専門は比較文学、翻訳研究など。2011年、『ナボコフ 訳すのは「私」
——自己翻訳がひらくテキスト』(東京大学出版会)で日本比較文学会賞、
日本ロシア文学会賞。同書の元となった研究論文で、2008年度東京大
学総長大賞。著書に『アメリカのナボコフ——塗りかえられた自画像』、
訳書にフランコ・モレッティ『遠読——〈世界文学システム〉への挑戦』(共
訳)、ウラジーミル・ナボコフ『ナボコフの塊——エッセイ集 1921-1975』
などがある。

▶メールアドレス: adm.gssc-tokubetsukoen@nihon-u.ac.jp

日時・会場

講師

講演内容

講師プロフィール

主催

会場・アクセス



日本大学大学院
総合社会情報研究科



日本大学会館第二別館
東京都千代田区五番町 12-5

JR・地下鉄 市ヶ谷駅より徒歩5分
JR・地下鉄 四ツ谷駅より徒歩7分

問合せ: TEL 03・5275・8277 (独立大学院事務課)

